
第 7 回江東豊洲心血管カンファレンス ご挨拶



会長 山口 裕己
昭和大学江東豊洲病院 循環器センター センター長
心臓血管外科 教授

令和5年2月18日に昭和大学江東豊洲病院において第7回江東豊洲心血管カンファレンスを開催させていただくことになりました。この会は“循環器疾患治療に関する研究及び啓蒙活動を促進し、によって地域医療レベルの向上と学術の発展に寄与すること”を目的として平成27年に第1回を開催して以降、年1回開催しております。

2020年1月頃より始まった新型コロナウイルスによる社会活動の抑制・自粛は3年を経過しさまざまな知識と経験が蓄積されワクチンや治療薬の開発もあって、今年5月の連休明けから感染症法上の取り扱いが二類から五類へと変更されることが議論されています。本会も十分な感染予防の対策・取り組みを行いながら現地開催及び研究会後に2ヶ月間のオンデマンド配信を行うこととしました。

前回は令和4年2月26日に“コロナ禍の中で若手心臓血管外科医にエールを贈る”と題しコロナウイルスによる感染症が収束しきらない中で、研究会のライブ配信やオンデマンド配信を活用しながら開催しました。コロナ禍の中でご退官の時期を迎えられたご高名な先生方、一方で次世代のリーダーとなるべく新しく施設の責任者に就任された先生方をお招きして研究会でしか聞けない人生の指針となるような貴重なご講演を多数頂きました。多くの方から“領域を越えた普遍的な人生のアドバイスを聴くことができ本当に勉強になりました”と感謝の言葉を頂きました。ご講演頂いた先生方にこの場をお借りして改めて心より御礼申し上げます。

さて今回は、“今年は僧帽弁について語ろう！”と題し、国内外のトップリーダーの先生方にご講演頂く予定としております。このテーマは今回退官に際しての記念講演をお願いした東京医科歯科大学の荒井裕國先生と長崎大学の江石清行先生にご講演をお願いした際に自然と湧き上がってきたものであります。私自身も僧帽弁の治療、特に僧帽弁形成術はライフワークのひとつとして日夜力を注いで取り組んでおりますが、今年退官されたお二人の長年のこの分野における業績は傑出しており誰もが敬意を持って接しているものであります。お二人には“Expert surgeon 退官記念講演”と題してご講演を頂くことになっております。

また僧帽弁治療と心房細動の治療は切っても切り離すことのできない一体化したものであると思っておりますが、この分野で長年世界をリードして来られた米国のBluhm Cardiovascular Institute,

Northwestern Memorial Hospital の Patrick M McCarthy 先生に Mitral valve repair と AF ablation のご講演をご了承頂きました。まさに我が国のこれからの僧帽弁手術と心房細動に対する外科的治療の道標となるお話しが聴けるものと楽しみにしております。

僧帽弁に関する話題は多岐にわたっています。今回ご講演をお願いしたのは、上記の先生方に加えご講演順に岡田行功先生(みどり病院)、渡邊 望先生(宮崎大学)、池田尚子先生(昭和大学江東豊洲病院)、阿部幸雄先生(大阪市立総合医療センター)、柴田利彦先生(大阪公立大学)、泉 知里先生(国立循環器病研究センター)、片岡明久先生(帝京大学)、若林公平先生(昭和大学江東豊洲病院)、細羽創宇先生(名古屋第一病院)、塩瀬 明先生(九州大学)、天野雅史先生(国立循環器病研究センター)、竹村博文先生(金沢大学)、藤田知之先生(東京医科歯科大学)、坂東 興先生(東京慈恵会医科大学)、及び丹野 郁先生(昭和大学江東豊洲病院)です。また鈴木 洋先生(昭和大学藤が丘病院)と江波戸美緒先生(昭和大学藤が丘病院)にも豊富なご経験を生かし座長をお願いしております。皆様もご存じの紛れもなく日本のリーダーの先生方ばかりです。お気づきの如く半数は著名な循環器内科の先生方です。僧帽弁のみならず心臓疾患の治療においては内科と外科の垣根を越えた相互の治療の知識と理解、協力が不可欠なものであると考えております。

今回も最大限の感染対策を講じながら先生方の肉声を聞きながら開催致します。また当日お時間のとれない先生方やコメディカルの皆様にはカンファレンス後、約2ヶ月間オンデマンド配信を致しますので是非貴重なご講演を聴いて頂きたいと考えております。通常の学会では聞くことのできないカンファレンスならではの本音トークをお届けしたいと思っております。

このカンファレンスを行うにあたって、いつも大切な患者様をお任せいただいている循環器内科の先生方、昭和大学本部や院内のスタッフの皆様、企業各社の方々など、多くの皆様にご指導とご支援をいただいておりますことを、この場を借りて深く御礼申し上げます。

最後になりましたが、7回目となりさらに短い準備期間にもかかわらず懸命に準備をしてくれた心臓血管外科スタッフの先生方、秘書の池永さん、土岐さん、映像室の石原さん、ネクストイノベーションパートナーズの古屋さん、本多さんをはじめスタッフの方々の尽力に心から感謝します。

どうぞ皆様、カンファレンスをお楽しみください。皆様の多くのご参加をお待ちしております。

令和5年2月

昭和大学江東豊洲病院 山口裕己

第7回 江東豊洲心血管カンファレンス プログラム

『今年は僧帽弁について語ろう！』

※現地開催終了後、オンデマンド配信致します

8時30分～8時35分

開会挨拶

山口 裕己（昭和大学江東豊洲病院 心臓血管外科 教授）

8時35分～8時55分

オープニングレクチャー

共催：日本メドトロニック株式会社

座長：竹村 博文（金沢大学医薬保健研究域医学系 心臓血管外科 教授）

「僧帽弁逆流に対する弁形成術の進歩と将来への課題」

演者：岡田 行功（倫生会みどり病院 心臓弁膜症センター センター長）

9時00分～10時55分

二次性僧帽弁閉鎖不全症に関する話題

座長：泉 知里（国立循環器病研究センター心不全・移植部門 部門長）

座長：中村 裕昌（昭和大学江東豊洲病院 心臓血管外科 准教授）

1. 「機能性僧帽弁逆流の話題」

演者：渡邊 望（宮崎大学医学部機能制御学 講座循環動態生理学分野 教授）

2. 「虚血性 MR に対する治療 当院の外科治療の中期成績」

演者：池田 尚子（昭和大学江東豊洲病院 循環器内科 講師）

3. 「心房性機能性 MR の診断」

演者：阿部 幸雄（大阪市立総合医療センター 循環器内科 副部長）

4. 「心房性 MR の外科治療」

演者：柴田 利彦（大阪公立大学大学院外科学講座 心臓血管外科 教授）

5. 「心房性 MR の治療の問題点」

演者：泉 知里（国立循環器病研究センター心不全・移植部門 部門長）

6. 「Mitraclip の役割」

演者：片岡 明久（帝京大学内科学講座 循環器 講師）

11時00分～12時00分

特別 Web 講演

共催: センチュリーメディカル株式会社

座長: 山口 裕己 (昭和大学江東豊洲病院 心臓血管外科 教授)

“New Approaches to Mitral Valve Repair and to AF ablation”

演者: Patrick M McCarthy, MD

(Executive Director, Bluhm Cardiovascular Institute,
Heller-Sacks Professor of Cardiothoracic Surgery)

12時10分～12時40分

Expert surgeon 退官記念講演

共催: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

座長: 山口 裕己 (昭和大学江東豊洲病院 心臓血管外科 教授)

「Keep Thinking・Think Different」

演者: 荒井 裕国 (長野県厚生農業協同組合連合会

北信総合病院 統括院長)

12時45分～13時15分

Expert surgeon 退官記念講演

共催: 日本ライフライン株式会社

座長: 山口 裕己 (昭和大学江東豊洲病院 心臓血管外科 教授)

「退官を迎えて思うこと」

演者: 江石 清行 (白十字病院 心臓・弁膜症センター

センター長)

13時15分～13時35分

休憩

13時35分～14時30分

MitraClip の現況と問題点

共催: アボットメディカルジャパン合同会社

座長: 鈴木 洋 (昭和大学藤が丘病院 循環器内科 教授)

座長: 塩瀬 明 (九州大学大学院医学研究院 循環器外科学 教授)

1. 「J-Mitra Registry からみた現状と予後改善への取り組み」

演者: 若林 公平 (昭和大学江東豊洲病院 循環器内科 准教授)

2. 「外科医が行う MitraClip」

演者: 細羽 創宇 (日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院

心臓血管外科 副部長)

3. 「MitraClip 後の VAD 治療を考える」

演者: 塩瀬 明 (九州大学大学院医学研究院 循環器外科学 教授)

14時35分～15時10分 **一次性僧帽弁閉鎖不全症に関する話題**

共催:ジェイ・シー・ティ株式会社

座長: 江波戸 美緒(昭和大学藤が丘病院 循環器内科 教授)

座長: 藤田 知之(東京医科歯科大学 心臓血管外科学 教授)

1. 「一次性僧帽弁逆流症 (MR)における運動負荷心エコー検査の役割を見直す」

演者:天野 雅史 (国立循環器病研究センター 心不全・移植部門 心不全科)

2. 「Barlow's disease の機能的理解と手術成績」

演者:竹村 博文 (金沢大学医薬保健研究域医学系 心臓血管外科学 教授)

15時15分～15時50分 **MICS MVP**

共催:泉工医科工業株式会社

座長:柴田 利彦 (大阪公立大学大学院外科学講座 心臓血管外科 教授)

1. 「Robotic MVP の短期成績からの考察」

演者:藤田 知之(東京医科歯科大学 心臓血管外科学 教授)

2. 「完全内視鏡 MVP」

演者:細羽 創宇 (日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院

心臓血管外科 副部長)

15時55分～16時30分 **Mitral valve surgery と心房細動**

共催:マリリンクロットファーマ株式会社

座長:山口 裕己 (昭和大学江東豊洲病院 心臓血管外科 教授)

1. 「心臓血管外科手術における心房細動と左心耳マネージメント:現状と課題」

演者:坂東 興 (東京慈恵会医科大学 心臓外科 教授)

2. 「Atrial Functional Mitral Regurgitation and Atrial Fibrillation Ablation」

演者:丹野 郁 (昭和大学江東豊洲病院 循環器内科 教授)

16時35分～16時40分 **閉会挨拶**

山口 裕己 (昭和大学江東豊洲病院 心臓血管外科 教授)